

伊豆ならんだの里

Kawazu Heian Buddha Statue Pavilion

河津平安の 仏像展示館

国指定
重要文化財
26体

千二百年の眠りから覚める仏像群

伊豆ならんだの里

河津平安の仏像展示館

〒413-0515 静岡県賀茂郡河津町谷津 138 番地

TEL/FAX.0558-34-0115

[HPはこちら]



開館時間	午前10時～午後4時(閉館)		
休館日	毎週火、水、木曜日、年末年始(12月29日～1月3日)		
観覧料	高校生以上	700円	
	小・中学生	100円	
	標章者(標章者手帳提示)	300円	小人無料、小・中学生無料
	団体割引あり ★20名以上 1名につき100円割引。		
	団体貸切受付は休日観覧応談可(10日前までに予約)		

- お車でお越しの場合
 - ・天城方面より…東名沼津IC、新東名長泉沼津ICより約1時間30分
 - ・熱海方面より…国道135号経由約1時間30分
 - 電車でお越しの場合
 - ・直通電車で…特急「踊り子号」でJR「東京駅」～伊豆急「河津駅」まで約2時間40分
 - ・新幹線で…JR「熱海駅」～伊豆急「河津駅」まで約1時間15分
- ※河津駅から徒歩25分

河津平安の 仏像展示館

案内図

南禅寺の 諸像

河津桜と温泉で知られる河津町は、平安時代、華やかな仏教文化が花開いた土地でもありました。多くの仏像を伝える河津町にあって最も古く、学術的美術的に重要な仏像を多数伝えるのが谷津の南禅寺です。

南禅寺の本尊・薬師如来坐像は、平安時代(9~10世紀)に遡る仏像で、他にも東海最古の地藏菩薩立像(10世紀)や、ヨーロッパ各地での展示会で絶賛された天部立像(10世紀)を始め、26体の諸像が伝えられており、まさに仏教美術の宝庫といえます。

主な仏像と南禅寺の歴史

伝承によれば、「かつて谷津には那蘭陀寺(ならんだじ)という七堂伽藍を備えた大きな寺があったが、山津波により堂や仏像が埋没。現在南禅寺に残る仏像群は土中より掘り起こされたものだという。」(平成11年「歴史の郷かわづ」より)



区分	時期	像高(cm)	概要
薬師如来坐像	平安時代(9~10世紀)	117.7	南禅寺本尊
地藏菩薩立像	平安時代(10世紀)	191.6	東海地方最古の地藏像
十一面観音立像	奈良時代(8世紀)	190.0	伊豆横道三十三所霊場本尊
天部立像(2体)	平安時代(10~11世紀)	158.3、145.7	甲冑をまとう。欧州を巡る展示で絶賛を浴びた名品
梵天帝釈天立像	平安時代(10~11世紀)	176.0、173.0	
聖僧坐像	平安時代(10世紀)	72.0	おびんずる様として親しまれている